

**重点課題に基づくプロジェクト（平成 28 年度～平成 30 年度）フォローアップ
アドバイザーからの最終的な助言（各プロジェクト共通事項）**

令和元年 12 月

- プロジェクトを通じて得られた研究成果については、論文や学会発表等の対外発信を通じて、成果の取りまとめ及び知見の共有を図ってほしい。

- 成果の活用にあたっては、それぞれのプロジェクトが個別に行う取組に加えて、基盤的研究・人材育成拠点が共同で作成・編集を行っているコアコンテンツに反映させる等、拠点間の連携も重視して行ってほしい。

- 研究成果等については、各拠点で実施している人材育成プログラムへの活用を着実に実施してほしい。

- 拠点として、プロジェクトに関わった若手・中堅の人材に対して、彼らのキャリアの発展につながるような取組を行っていくことが重要である。

- 令和元年度より始まった共進化実現プロジェクトに関連しているものについては、得られた成果及び知見を、共進化実現プロジェクトの推進に生かしていただきたい。